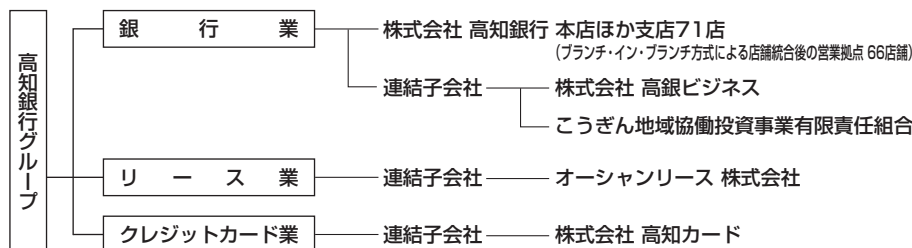


## 高知銀行グループの概況

### ●事業系統図 (2021年9月30日現在)

当行グループは、当行、当行の連結子会社4社で構成され、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

当行グループの事業に係わる位置づけは次のとおりであります。



### ●連結子会社の概要 (2021年9月30日現在)

会社名	事業の内容	設立年月日	資本金又は 受入出資金	当行 出資比率	他子会社 出資比率	住所
株式会社 高銀ビジネス	現金精査整理業務、清掃管理業務	1979年 8月22日	1,000万円	100%	—	高知市本町三丁目3番4号
こうぎん地域協働投資事業有限責任組合	投資業務	2016年 4月 1日	6億円	98.3%	1.7%	高知市はりまや町一丁目5番28号
オーシャンリース株式会社	リース業務	1974年10月 1日	2,000万円	45%	—	高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル3F
株式会社 高知カード	クレジットカード業務	1987年 8月18日	2,000万円	5%	37.5%	高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル2F

## 営業の概況

### ●経営環境

当中間連結会計期間 (2021年4月1日～2021年9月30日) のわが国の経済は、設備投資や生産に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費や雇用環境は依然として弱い動きが継続する厳しい状況となりました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、公共投資は高水準で推移し、設備投資や住宅投資は緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、生産は一部に弱い動きがみられ、雇用所得環境も安定感に乏しい状況が続き、全体としては弱い動きとなりました。

### ●業績 (連結)

経常収益は、株式売却益の減少等により、前年同期比9億38百万円減少して110億97百万円となりました。一方、経常費用も、与信関連費用の減少等により、前年同期比10億56百万円減少して95億69百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比1億17百万円増加して15億28百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比1億64百万円増加して13億21百万円となりました。

当中間連結会計期間末における財政状態については、総資産は前連結会計年度末に比べ214億円減少して1兆2,235億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ21億円増加して778億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金等は、公金預金、一般法人預金等が減少したことから、前連結会計年度末に比べ202億円減少して1兆287億円となりました。一方、貸出金も不動産業・物品賃貸業、地方公共団体、運輸業・郵便業等は増加しましたが、金融業・保険業、各種サービス業、卸売業・小売業、製造業、建設業等が減少したことから、前連結会計年度末に比べ60億円減少して7,418億円となりました。また、有価証券は社債、株式が増加しましたが、国債、その他の証券、地方債が減少したことから、前連結会計年度末に比べ89億円減少して2,992億円となりました。

なお、セグメント情報における経営成績については、銀行業務での経常収益は前年同期比11億97百万円減少して83億97百万円、経常費用は同比13億46百万円減少して69億42百万円、セグメント利益は同比1億48百万円増加して14億55百万円、セグメント資産は同比109億99百万円減少して1兆2,131億30百万円、セグメント負債は同比158億61百万円減少して1兆1,403億40百万円となりました。

リース業務での経常収益は前年同期比2億77百万円増加して26億18百万円、経常費用は同比2億87百万円増加して25億8百万円、セグメント利益は同比10百万円減少して1億9百万円、セグメント資産は同比5億63百万円減少して113億64百万円、セグメント負債は同比7億93百万円減少して70億45百万円となりました。

クレジットカード業務での経常収益は前年同期比22百万円減少して1億33百万円、経常費用は同比1百万円減少して1億68百万円、セグメント損失は同比20百万円増加して34百万円の損失、セグメント資産は同比1億85百万円減少して27億39百万円、セグメント負債は同比1億71百万円減少して16億54百万円となりました。

## 最近3中間連結会計期間及び2連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

	2019年度中間期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	2020年度中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	2021年度中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	2019年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	2020年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
連結経常収益	11,509	12,036	11,097	22,985	22,904
連結経常利益	1,858	1,410	1,528	2,619	1,624
親会社株主に帰属する中間純利益	1,238	1,156	1,321	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	1,354	877
連結中間包括利益	2,269	3,248	2,396	-	-
連結包括利益	-	-	-	△ 3,393	6,363
連結純資産額	75,651	72,793	77,872	69,811	75,732
連結総資産額	1,089,625	1,234,947	1,223,523	1,123,375	1,244,933
連結ベースの1株当たり純資産額(円)	5,689.15	5,397.70	5,881.35	5,106.05	5,675.68
連結ベースの1株当たり中間純利益金額(円)	115.10	106.94	123.11	-	-
連結ベースの1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	115.55	68.31
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額(円)	41.43	35.62	46.52	-	-
連結ベースの潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	-	-	-	46.61	28.34
自己資本比率(%)	6.66	5.64	6.10	5.94	5.82
連結自己資本比率(国内基準)(%)	9.93	9.90	10.05	9.56	9.72
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,131	77,112	△ 16,579	18,194	80,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,823	3,559	10,737	△ 3,032	△ 513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 271	△ 266	△ 266	△ 447	△ 442
現金及び現金同等物の中間期末残高	53,580	160,927	153,951	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	-	-	-	80,521	160,060
従業員数(人) 〔外、平均臨時従業員数〕	859 〔281〕	820 〔292〕	788 〔302〕	835 〔285〕	802 〔295〕

- (注) 1. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部合計 - (中間)期末新株予約権 - (中間)期末非支配株主持分を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。  
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しており、当中間連結会計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。  
3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。

## 連結自己資本比率(国内基準)

(単位：百万円)

2020年9月末

自己資本比率	9.90%
自己資本(コア資本)	66,956
コア資本に係る基礎項目	67,090
コア資本に係る調整項目(△)	134
リスク・アセット等	675,936

2021年9月末

自己資本比率	10.05%
自己資本(コア資本)	67,378
コア資本に係る基礎項目	67,710
コア資本に係る調整項目(△)	332
リスク・アセット等	670,193